

卒業生答辞（甲斐鈴葉さん）

春の暖かな日差しが降り注ぎ、城山の木々の蕾も膨らみ始める季節となりました。この良き日に、私たち百六名は、三年間通ったこの岡富中学校を卒業します。

ちょうど三年前の春、私たちはダボダボの制服に身を包み、不安と期待を胸に岡富中学校に入学しました。入学したての頃は何もわからず、とまどい、先輩の姿に圧倒され、テストに苦しみましたが、新しい友達もでき、だんだん慣れていくことができました。

二年生になると、人生で初めて先輩と呼ばれる立場になり、嬉しさとともに、照れくさい感じがしました。二年生の一番の思い出は、やはり修学旅行です。

「人と防災センター」では、災害の怖さと、減災、防災の大切さを学びました。USJでは、仲のいい友達と全力で楽しみました。そして三月、コロナウイルスが流行し始めました。今までに体験のないことで、大人も子どもも戸惑う中で臨時休業になりました。臨時休業が明け、私たちは義務教育最後の年に入りました。授業も遅れ、最後の中体連も思っていたようにいかず、行事も例年通りできず、誰もが悔しい思いをしました。ですが、そんな状況の中でも岡富中学校から笑顔や笑い声が絶えることはありませんでした。それは、岡富中生の明るさと先生方の努力のおかげだと思います。

私は生徒会で、どうしたら行事を盛り上げられるかすごく悩みました。新しい案を出して、通ってできると思ってもコロナで状況が変わり、ダメになったことが何度もありました。正直、本当につらかったです。悔しくて、涙を流したこともありました。ですが、生徒会メンバーや先生方と悩んで、たくさん話し合っただけで今年の行事を盛り上げることができました。

私たちは、三年間の中でたくさんの方に出会いました。勉強、部活、先輩、後輩、好きな人、先生、趣味、楽しさ、思うようにいかないもどかしさ、悔しさ、人との別れ、そして大切な仲間、たくさんの方に出会えました。きっと岡富中学校で出会ったものすべては私たちの人生の財産になると思います。

在校生の皆さん、私たちは今日をもって岡富中学校を卒業します。これからの岡富中学校を引っ張っていくのは皆さんです。岡富中学校に誇りをもって頑張ってください。先生方は、皆さんが思い出を作れるように努力してまいります。ですが、「楽しい」思い出は自分たちでつくっていくものです。私は三年間を通して実感しました。私たちに負けないぐらい、楽しい思い出をつくってください。また、きっと今、つらい、しんどい思いをしている人がいると思います。そういう時は無理をせず、周りを頼ってください。人は意外と弱いものです。頼った時に見える景色もあります。ぜひ、周りとのつながりを大切にしてください。

時には優しく、時には厳しく指導して下さった先生方、三年間本当にお世話

になりました。正直、いろいろな先生に迷惑をかけました。先生方は、頭を悩ませたと思います。勉強がわからなかったら、朝でも放課後でも何度でもわかるまで教えてくださったり、何か相談したら親身になって考えてくださったりしました。私たちが今日卒業式を迎えられるのも先生方のおかげです。ありがとうございました。

父ちゃん、母ちゃん、十五年間愛情たっぷりに育ててくれてありがとう。何があっても最後まで私を信じてくれて、うれしいことがあれば、自分のことのように喜んでくれてありがとう。いつまでも大好きです。これからも、よろしく願いします。

私の友達や仲間は、私が辛い時には必ず話しかけてきてくれて、励ましてくれました。目が合ったら笑いあって、ふざけあえるような人にたくさん会えて、すごく私は幸せだと思います。出会えて良かった。ありがとう。

最後に、卒業生の皆さん、別れの時が近づいてきました。これから私たちは、別々の道に歩き始めます。その道の途中できっと辛いことがあると思います。そんな時は、岡富中学校での日々を思い出してください。そしたら、必ず前を向いていけるとと思います。見慣れた景色は二度と並んで見ることはできません。ですが、この学年との思い出は変わりません。さようなら、後輩の皆さん、先生、友達、仲間、そして、岡富中学校。

思い出を思い出すほど名残惜しくなりますが、卒業生のこれからの活躍と、岡
富中学校の発展を願って、答辞といたします。

令和三年三月十六日

卒業生代表 甲斐鈴葉

在校生送辞（中本公希君）

五ヶ瀬川の堤防を吹く風が強く、寒さの厳しかった冬も終わりを告げ、柔らかか

な春の日差しの中、草木も新芽を吹き出そうとしている今日の良き日に、岡富中学校を巣立っていかれる卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。在校生一同、心からお祝い申し上げます。

皆さんはこの三年間、どのような日々だったでしょうか。今、僕の脳裏には、先輩方と一緒に過ごした思い出の数々がよみがえっているところです。

二年前、僕は新しい制服に身を包み、期待と不安を胸に通学路を歩いていました。いえ、不安の方が大きかったです。その不安の大半は、先輩方との関係の築き方でした。しかし、僕の心配をよそに、先輩方は、常に優しく接してくださいました。特に、野球部の先輩の方は、いかなる時でも僕を受け入れてくださいました。そんな先輩方を尊敬しております。とても先輩方に恵まれたと思っています。皆さんが一つ上の先輩で僕は幸せです。先輩方と練習や試合を経験できたことで僕は成長できました。ありがとうございます。先輩方に目標となるべき姿を見せていただき、少しでも前に進もうとする努力ができました。四月からはそれぞれの道で頑張ってください。応援しています。野球部以外の先輩方も部活動お疲れ様でした。良い結果で終わった方も悔しい結果で終わった方も、次のステージに向けて頑張ってください。僕たち在校生は、先輩方の優しさ、厳しさといったあるべき姿を見せていただいたので後は任せてください。

生徒会では、鈴葉会長、お疲れ様でした。先輩は、僕たち二年生に責任感の強

さを見せてくださいました。新型コロナの影響でいくつもの行事が中止になりそうなところを、先輩が裏で支えてくださり、無事成功に導いてくれたことを僕たちは知っています。また、会長だけでなく、執行部、各専門委員長の皆さんも、責任感のある方々ばかりでした。後の生徒会は、僕たちが引っ張っていきますので安心してください。体育大会では、団長の禎弥先輩、幹大先輩、各団の副団長とリーダーの方々、素晴らしい盛り上がりがありました。感染防止のため、できることが限られている中、一生懸命考え抜き、中学校生活最後の体育大会に込める皆さんの思いが伝わってきました。しかし、勝負なので、必ず勝敗が決まります。ハッピーエンドとバッドエンドは勝負にはつきものです。結果的に白が勝ち、赤が負けとなりましたが、両団とも全力を尽くすことができました。大成功の体育大会だったと思います。先輩方全てが、とても輝いていました。

楠の葉祭、これもまた感染防止のため、例年通りの楠の葉祭ができない中、文化委員会が中心となり、大成功だったと思います。合唱コンクールはビデオだったものの、体育館に響くハーモニー、先輩方の凜とした姿、全員の心が一つになっているのを感じました。

もうこれからは、先輩方を追いかけるのは終わりです。自分たちが道しるべとなる時がきました。先輩方から教わったことを胸に刻み、これからの岡富中学校をさらに素晴らしい学校にします。そして、来年の今頃は、今日の先輩方に見せ

でも恥ずかしくないように日々努力し続けることを誓います。

先輩方の未来はこれから楽しいこと、辛いこと、たくさんのが待ち受けていると思いますが、岡富中学校の3年間での経験を生かし、力強い一歩を踏み出してください。

皆さんの輝かしい未来をお祈りして在校生からの送辞とさせていただきます。

令和3年3月16日

在校生代表 中本公希